

第2号様式

学校運営協議会実施報告書（兼）議事録

狛江第一中学校長 吉田 知弘
狛江第一小学校長 川崎 貴志
緑野小学校長 亀田 親子

会議	令和 <u>5</u> 年度第 <u>3</u> 回 <u>一</u> 中ゾーン学校運営協議会
実施日時	令和 <u>6</u> 年 <u>1</u> 月 <u>30</u> 日 <u>9時30分</u> ~ <u>11時30分</u>

1 議題

- (1) 各校の状況について
- (2) 「音楽」「特別支援教育」の取組状況について
- (3) 学校評価について
- (4) その他

2 内容

(1) 【一小】

卒業式、入学式の案内をお送りする。小学校同日開催となるため、所属の学区の式に参加をお願いしたい。ご来賓とは立場が異なるご理解を得たい。2学期は、運動会、市民祭りの鼓笛パレード、研究発表会を実施した。2月17日の学習発表会のご案内をした。

【緑野小】

研究発表会研究開催時の御礼。人事異動があり、研究発表が大変であったが、同じ方向に向かって研究を推進することができた。大縄大会に向けて頑張っている。外部からGTを多数招く予定である。

【一中】

11月に2年生が職場体験実施した。先週、スキー移動教室で白樺湖へ。元気に全日程を終えた。インフルエンザの流行もない3年生は、私立推薦し終了した。残るは、公立の試験となる。

(2) 1年を振り返って

- 「音楽」「特別支援教育」の取組状況について

(3) 学校評価について

- 各校より報告
- 協議
 - ・PTAとして、来年度の取り組みを考え、取り組んでいきたい。
 - ・連合音楽会に参加した。他校の発表を見たり、発表したりして、子供も喜んでいた。ブラスバンドの取り組みが楽しみである。
 - ・小中学校間で教育活動の違いを理解しておく必要がある。

- ・小中間が連携し、教育課程のすり合わせすることが大切である。
- ・一小は、PTAで楽器の購入している。学校間で楽器の貸し借りは可能か。
→活動時期が重なる。また、毎日練習している学校もあることから不可能である。
- ・楽器購入については、狛江市にも校長会を通して要望をしている。寄贈などで応援していただけるとありがたい。
- ・楽器をベルマークで子供たちが購入できるようにしている。
- ・「音楽の街」をうたうのであれば、狛江市に楽器整備をお願いできないものか。
→狛江市で、楽器を購入するゆとりがない。
- ・来年度はCSを5回やってもよい。さらに充実した取組をしたい。
- ・楽器購入に、クラウドファンディングを活用するはどうか。
- ・演奏会で募金をすることを提案したことがある。募金を呼びかけることはCS委員でも可能である。
- ・大学、消防団、警察等から楽器をいただくことは可能だろうか。
- ・プルタブ、空き缶回収等も有効である。やってみることが大切である。

4 その他

- ・財源を確保するために、財団等への申請をしてみるとよい。
- ・CS広報について、R6年度は、各ゾーンで作成する。
- ・狛江市だけでなく三鷹市でもCSの認知度が低い。しかし、認知度を上げることが目的ではなく、中身を充実させることが優先である。
- ・特別支援学級の取り組みは、進んできている。通常級にも焦点を当て、充実を図ることがCSの取り組みの充実につながる。
- ・総合的な学習の時間についてCS内で連携し、充実を図る。
- ・小学校と中学校の学びの連携接続が大切である。より実践的な取り組みにするためには教育課程についてもブロック内での接続を大にしたい。
- ・本会議に教員を出席させる。教員が参加するためには、CSは午後開催がよい。
- ・二中ブロックでは領域ごとに分科会を設けている。開催はブロックごとに集合して実施する方法も考えられる。管理職レベルの取り組みから教員も含めた取り組みを推進したい。
- ・現状、部活地域移行は、野球、ハンドボールとなっている。吹奏楽の地域移行は進んでいない。